

議決

定例会初日に、市長から平成十九年度各会計補正予算、条例の制定など計十二件が提出されました。休会中に所管の常任委員会で審査し、定例会最終日に委員長報告があり、すべて原案のとおり可決されました。また、最終日には、追加議案三件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決されました。可決された主な議案の内容は、次のとおりです。

条例

「駐車料金を徴収する自動車駐車場に関する条例を制定
道路法第二十四条の二に基づき駐車料金を徴収する自動車駐車場（加古川駅南広場自動車整理場）に関し、新たに条例で必要な事項を定めようとするもの
（全会一致）
加古川市水道事業の設置等に関する条例の一部改正
（全会一致）
加古川市看護専門学校設置条例を廃止
（賛成多数）
加古川市市職員の給与に関する条例の一部改正（全会一致）

人事

看護専門学校を廃止するため看護専門学校設置条例を廃止しようとするものです。
加古川市市職員の給与に関する条例の一部改正（全会一致）
次の人が、固定資産評価審査委員会委員に選任されることに同意しました。（敬称略）
（敬称略）
固定資産評価審査委員会委員
しかた のりひさ
志方 紀久（加古川町）新任

意見書

次の意見書が可決され、関係機関へ送付されました。

割賦販売法の抜本的改正に関する意見書
医療費の総枠拡大を求める意見書
保険でよい歯科医療の実現を求める意見書
地方の道路整備と道路特定財源の安定的な確保を求める意見書
後期高齢者医療制度に関する意見書
この意見書は国に対し、後期高齢者医療制度において、被保険者に過大な負担を招くことなく、安心して適切な医療サービスを受けられるよう配慮するとともに、市町村に対して過大な負担が生じないよう十分な財政措置を講じるよう要望するものです。

請願・陳情

本会議及び委員会で、次の請願及び陳情に結論が出されました。

採択となったもの

請願

悪質商法被害を助長するクレジットの被害を防止するための割賦販売法の抜本的改正を求めることについて（兵庫県司法書士会会長 島田雄三） 全会一致

陳情

医療費の総枠拡大を求めることについて（兵庫県保険医協会加古川・高砂支部支部長 橋本能直） 全会一致
保険でよい歯科医療の実現を求めることについて（兵庫県保険医協会加古川・高砂支部支部長 橋本能直） 全会一致

不採択となったもの

陳情

「後期高齢者医療制度」の見直しを求めることについて（加印社会保険推進協議会会長 橋本能直） 賛成少数
「後期高齢者医療制度」に関する意見書の採択を求めることについて（全日本年金者組合兵庫県本部加印支部支部長 橋弘康） 賛成少数

次の定例会は2月28日から開催する予定です。

- 2月28日(木) 19年度補正予算上程(質疑・付託)
施政方針
20年度予算及び関係議案上程(提案説明)
- 3月5日(水) 各常任委員会(19年度補正予算審査)
- 3月6日(木) 代表質問
- 3月7日(金) 代表質問
- 3月10日(月) 一般質問
- 3月11日(火) 一般質問
- 3月13日(木) 委員会審査報告(質疑、討論、採決)
20年度予算質疑(付託)
- 3月14日(金) 条例・単行議案質疑(付託)
- 3月17日(月) 各常任委員会
(20年度予算・条例等議案審査)
- 3月18日(火) 各常任委員会(予備日)
- 3月24日(月) 特別委員会
- 3月25日(火) 委員会審査報告(質疑、討論、採決)
追加議案上程(即決)

本会議と委員会は、いずれも午前9時30分に開会する予定です。会議の日程等は変更されることがありますので、傍聴をされるときは、あらかじめ議会事務局(☎427-9303)へお問い合わせください。



BAN BANテレビ (アナログ52ch デジタル018ch)

代表質問と一般質問の様を、議場から生中継します。

放送日時

- 3月6日(木) 代表質問
午前9時から
- 3月7日(金) 代表質問
- 3月10日(月)・11日(火) 一般質問
午前9時30分から

かこがわ 議会だより

平成19年第5回
市議会定例会報

No.149 平成20年1月1日発行

編集・発行 加古川市議会事務局
加古川市加古川町北在家2000
TEL 079-427-9303



12月6日に野口幼稚園で「ふれあいもちつき」が行われました。地域の方たちと一緒に、今では珍しくなった石臼と杵で餅つきをしました。

つきたて
おいしいね！
おもち

補正予算7億9,160万4千円を可決

平成19年第5回市議会定例会は、11月27日から12月7日まで、11日間の日程で開催されました。

総額7億9,160万4千円を追加する各会計補正予算をはじめ固定資産評価審査委員会委員の選任など市長提出議案15件の審議が行われ、すべて原案のとおり可決されました。また、意見書5件が可決され関係機関に送付されました。

新年あけましておめでとございます。
皆様には、夢と希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

さて、我が国では地方分権の時代を迎え、地方自治体は自己責任、自己決定による行財政運営を進めているところですが、地方交付税等、自主財源の確保が非常に厳しい状況になっております。



加古川市議会議長
吉野 晴雄

新行財政構造改革推進方策による医療、教育、福祉分野など市民生活に直結する見直しを公表されたことにより、市政運営に重大な影響を及ぼすことが予想されます。

市議会といたしましては、この厳しい財政の難局にあつて市民の皆様方のお声を市政に的確に反映させ、「ふるさと加古川」に誇りを持って住み続けることのできる安全・安心のまちづくりをめざして、議員一同全力で取り組んでまいりる所存でありますので、なお一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

写真は議席順に掲載しています。

公明党議員団

安全・安心の確保と未来を開くまちづくりを



相良 大悟



隈元 悦子



今井 淳子



三島 俊之



大西 健一



中山 廣司

新政会

夢と希望に満ちた『ふるさと加古川』の創造へ

謹んで新春のお慶びを申しあげます。
この一年が穏やかで、幸多き年になることを祈念申し上げます。
都市機能を充実させるJR加古川駅・東加古川駅周辺の整備も進み、東播磨地域をリードする加古川の顔がほほ見えてまいりました。続いて、東播磨南北道路、中部幹線整備事業

も概ね順調に進められております。しかし、少子化対策や育児環境の充実、教育課題への積極的な取り組み、さらには、地域の医療充実など市民生活に直結した課題には、迅速な対応が求められております。また、住民本位の施策である「田園街づくり」や「地区計画」における「街づくり協議会」により参画と協働を実証し、

地域コミュニティの醸成と、住みやすい「安全安心のまちづくり」を実現することが望まれます。昨年の秋より、市議会においては議会活性化特別委員会を設置し、更なる活性化を目指して活発な審議を進めております。

私たち新政会は、今後も市民の皆様との対話による市政を基本に「幸せを実感できるまちづくり」を推進してまいります。
なお一層のご支持、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



末澤 正臣



井上 隆司



新屋 英樹



松本 裕一



吉野 晴雄



堀 充至



坂田 重隆



佐藤 守



神吉 耕蔵



眞田 千穂

市民クラブ

「安全で安心な元気なまち加古川の実現」を目指して

新年あけましておめでとございます。本年も健やかに幸せ多き年となりますよう、ご祈念申し上げます。
わが国の経済は、「いざなぎ景気」を超えたとはいえ、格差拡大により生活の豊かさを実感出来ず、少子高齢化と人口減少社会の到来などの影響が心配されます。加古川市の財政も、大型プロジェクトなどの事業推進や国の三位一体改革、県の行財政改革の影響などにより依然として厳しい状況が続くものと思われま

す。
また、加古川駅と東加古川駅の周辺整備などの都市基盤整備の着実な推進と共に、一戸一灯防犯運動をはじめとする「安全で安心なまちづくり」のための施策の充実、子育て支援などの少子化対策や高齢化に対応した医療体制・高齢者福祉や交通体系の整備充実及び環境保全や教育の充実などに努力してまいります。
今年も私たちは、市民の立場に立ち、事件や事故の少ない「安全で安心な元気なまち加古川の実現」を目指して、邁進してまいりますので、皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。



安田 実稔



畑 広次郎



名生 昭義



村上 孝義



御栗 英紀



渡辺 昭良

平成クラブ

行財政改革はまだまだこれから

市民の皆様、新年あけましておめでとございます。この一年が健康で幸福な年となりますようご祈念申し上げます。

昨年、別府町で児童刺殺という痛ましい事件が発生し、改めて安全安心のまちづくりを考えさせられました。今、医療と保健、少子高齢化、行財政改革、環境や教育など多くの課題に取り組みなければなりません。特に今後、行財政改革（集中プラン）の推進については、取り組む事項を一層検討し、財政の健全性の確保とともに、簡素で効率的な行政運営を目指す必要があります。中でも、指定管理者制度の更新に当たっては、財団法人による管理運営を見直すとともに、斎場などについても幅広く

民間活力を導入することも考慮すべきです。そして、百パーセント出資の財団法人についても設立目的と実施事業を検証し、統合、再編を含め見直しを行なうことも重要であります。補助金および負担金なども、その効果などについての事業評価を踏まえ、見直しを行なうべきと考えます。

また、公会計改革とディスクロージャー（経営公開）を進めなくてはならない時代となりつつあります。平成クラブは、あらゆる分野の見直しや改善に全力で取り組む決意であります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



西多 攻



田中 隆男



清田 康之



岩城 光彦

日本共産党議員団

憲法が生きる新しい政治をめざして

新年おめでとございます。昨年は一せいで地方選挙と参議院選挙が行われ、日本共産党は、貴重な前進を果たすことができました。小泉、安倍と続いた自民・公明政権は、憲法改悪を目論み、憲法に反してアメリカの競争への協力で財界大企業の利益のみを追求する悪政を重ねてきました。昨年の参議院選挙の結果はこのような政治に対する国民の厳しい審判を示しています。国会の状況はこうした国民の願いに応え切れていません。二大政党つ

くりの破たんも見えつつあります。新しい政治の流れはこれからというところではないでしょうか。日本共産党議員団は、国と地方の政治に憲法を生かし、政治の本来の役割を果たすこと。くらしと福祉、教育を第一に充実し環境と健康、平和を守る政治の実現に全力をあげる決意です。

本年も、憲法を生かす新しい政治の実現へがんばります。ご支援をよろしく願います。



中村 照子



山川 博



広瀬 弘子

市民ネットワーク

市民のみなさんと同じ目線で、 公害対策や福祉・教育の充実をめざします

市民のみなさま、新年あけましておめでとございます。国の景気回復の宣言とは裏腹に、依然として地方財政は厳しい状況にあります。加古川市においては、単年度決算では赤字であるものの、電気・運輸・農業・漁業関係の税収増は見込めない状況にあり、老年者控除の廃止や定率減税の廃止、障がい者自立支援法など、その多くは市民に負担を強いてきています。

こうした財政状況のなかで、大型開発事業である加古川・東加古川両駅の南北周辺整備事業もおおむね終了しました。これからの課題は、厳

しい財政状況のなかで、福祉・医療・教育など、公共サービスをどのように充実させていくのかということですね。

また、神戸製鋼所等の粉じん対策などをはじめ、設備対策は出来つつあるものの、その検証や分析はこれからの課題でもあります。さらには、子どもたちや市民の安全対策について、これまでの取り組みを検証し、行政・地域・事業者などとのさらなる連携強化を図り、暮らしやすいまちづくりをめざしていきます。本年も市民のみなさんと同じ目線で議会活動に取り組んでまいります。



井筒 高雄



松崎 雅彦

無所属クラブ

安全で差別のない住みよい 福祉の充実した加古川市建設に向けて

新年あけましておめでとございます。本年が皆様にとってより素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。

昨年は弱者が被害者になる事件が多発した様に思われます。幼児虐待それによる死亡、いじめで自殺した生徒、また前途を悲観して死んでいく高齢者等々もっと私たちも弱者の身に我が身を置き換えて思いやりの心を持たねばならないと思います。加古川市では平成二十年度の投資事業や補助金の予算は前年度より二十パーセント減になるとの見通しがあります。一律ではなく優先順位

費用対効果を精査し、有った方がいいが無くてよい政策はやるべきではないと思っています。行政は財源である税金をどの様に使うかとの予算作りだけではなく、市民に重税をかけずに財源をどの様にすれば確保できるかを考えるべきであります。

私達は常に皆様の代弁者として市民の血税が適正に使われているか監視をし安全で、差別のない、住みよい、福祉の充実した、加古川市の建設に心新たに全力で取り組んでまいります。今後一層のご支持、ご支援を心よりお願い致します。



平井 敦美



西田 重幸

虚礼廃止にご理解とご協力を

議員は、公職選挙法により、市内の人に答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことが禁止されています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一般質問

11月27日と28日に行われた一般質問には、12人の議員が質問に立ち、市政全般にわたり、活発な質問を展開しました。主な内容は次のとおりです。

兵庫県「新行革プラン」による福祉等への影響は

山川博 議員

議員 県が策定を進めている、新行財政構造改革推進方策（新行革プラン）は、老人福祉、重度障害者医療助成、母子・父子家庭医療助成及び子ども医療助成等、市民の暮らしに対する財政削減が予定されている。本市では、平成十九年四月から子どもの医療費を小学校三年生まで無料化し、市民に喜ばれている。これら施策を後退させないよう求めるがどうか。

市民部長 十一月に公表された県の「新行革プラン」は福祉医療も改正対象であり、老人医療は所得基準が見直しとなる。また障害者医療や母子家庭等の医

地方財政健全化法での評価は

坂田重隆 議員

議員 今年六月に成立した地方財政健全化法は、病院など特別会計や第三セクターを含めた自治体の財政状況を把握し、財政の健全化を促すことを目的としている。具体的には、実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の四指標を公表し、一定基準以上になると健全化計画の作成などを義務付けられる。本市の十八年度決算での四指標の比率はどうか。またその結果をどのように評価しているのか。

企画部長 四指標の算定方法は正式には発表されていないが、

妊婦健康診査の無料化について

広瀬弘子 議員

議員 妊婦健康診査では、母体や胎児の健康を守るために不可欠な各種の検査が行なわれる。異常を早期に発見すると、予防も治療も可能であるが、未受診のまま出産すると出生時の死亡率は十五倍にもなる。妊婦健康診査の重要性についての認識はどうか。また、奈良県で妊婦が救急搬送されても受け入れ先が決まらず、死産になった事件後、経済的理由で、妊婦健康診査を受けずに出産する例が増えつつあることが報道された。若い夫婦には一回約五千円の健診費用は重い負担であり、無料化の検討はどうか。

福祉部長 妊婦健康診査は、母体や胎児の健康を確保するうえで重要であると認識している。また、平成十八年七月から妊娠後期（二十二週以降）の妊婦健康診査の一部を助成しているが、無料化については、現在考えていない。

その他の質問項目
妊産婦健康診査助成制度の拡充

市内スポーツ施設の利用促進について

佐藤守 議員

議員 健康増進の観点から市民スポーツの振興は、ウエルネス都市を目指す本市にとって重要な施策のひとつである。市内各スポーツ施設の利用状況はどうか。また、予約をしながら直前のキャンセルにより、利用した

市民部長 健康増進の観点から市民スポーツの振興は、ウエルネス都市を目指す本市にとって重要な施策のひとつである。市内各スポーツ施設の利用状況はどうか。また、予約をしながら直前のキャンセルにより、利用した



日岡山公園グラウンド

平成十八年度決算において、現段階で推測できるものは、実質赤字比率と実質公債費比率である。実質赤字比率は、普通会計が黒字決算であり、抵触しないと考え、本市での実質公債費比率は、十六・三％となっている。これら四指標は、特別会計等も含むため、財政の硬直化を招かないよう、より一層、慎重な財政運営に努めていきたい。

その他の質問項目
三位一体改革と今後の財政運営について
三位一体改革の影響/十九年度の決算見込み/今後の交付税の動向と税源移譲の見直し/土地開発公社/内部管理支援システム/県の新行財政改革プラン/二十年度予算編成/本市の緊急行動計画の見直し

全市民がカインドカードを持つべきでは

末澤正臣 議員

議員 本市の地域保健医療情報システムは、市民の健康づくりを目指して始められた先進的な施策である。このシステムが有効に機能すれば、多重診療や過剰な投薬を削減する効果があるが、そのためには市民全員が自分の健康情報を記録できるカイ



カインドカード

ンドカードを持つとともに、すべての医療機関がシステムに入ることが必要である。全国に先駆けたモデルとして期待されるこのシステムを、最大限に活用することについて所見はどうか。

福祉部長 カインドカードは十月末現在で約三万四千人の市民が所持し、本市と稲美町、播磨町の百九十八医療機関のうち百十八医療機関で利用されている。このシステムの機能を十分に発揮させるには、すべての市民と医療機関への普及が必要であり、積極的に啓発していきたい。また、検査の重複など無駄を極力省くなど、医療費増加の抑制に役立てたい。

老朽危険空き家への対策は

隈元悦子 議員

議員 高齢化の進むなか、空き家が増えている。なかには老朽化して倒壊の危険を感じたり、不衛生な空き家も見受けられる。地域住民の安全のためにも対策が必要と思われるがどうか。また、長崎市では「老朽危険空き家対策事業」が平成十八年度から実施されており、市民の支持を得ている。本市での取り組み状況はどうか。

都市計画部長 市民からの通報等により、老朽危険家屋として把握した物件は、管理者に適正な維持管理を行なうよう指導している。平成十六年度から市の指導により除却等を実施した物件は十八件である。また、先進地等の情報収集を行い、危険度判定の方法や具体的な制度内容等、調査研究を行っていきたい。

その他の質問項目
選挙管理委員会の今後の取り組みについて
期日前投票所の投票方法改善/各投票所のバリアフリーの現状と今後の対策/投票率アップに向けての課題と取り組み
市内における老朽危険空き家対策について
老朽空き家の現状と対策
防犯灯等の設置状況について
球切れ箇所等の現状と今後の課題/電気事業者との契約見直し/三十二ワットの設置状況と今後の取り組み
妊婦健康診査費について
妊婦健康診査の推進状況と助成の必要性/利用状況と効果/さらなる拡充
児童虐待について
近年の相談件数と一時保護をした件数/児童虐待の対応についての課題と取り組み/こ

中学校給食の実施に向けた検討を

中村照子 議員

議員 本市の中学校（志方中学校を除く）では、小学校と同様の給食は実施されていないが、全国では七十四・四％実施されている。近隣では小野市が既に実施し、相生市でも今年五月から実施している。三木市は合併した吉川町に合わせて平成二十一年度の実施を表明し、播磨町でも今年度より検討の予算を計上している。核家族や共働きだけでなく、親の病气、経済的理由のほか児童虐待の増加などにより、「弁当を持参できない生徒」が増加している。成長期の子どもたちの健全な食生活確保の観点から、中学校給食の実施に向けて検討を求めますが、考えはどうか。

教育総務部長 中学校での給食を実施するには、共同調理場方式を採用した効率的な運営を前提としても、土地の確保や施設の建設など相当な経費と期間を要する。基本的には愛情弁当による昼食を継続しながら、長期的な視野に立つて調査研究を行うっていく。

その他の質問項目
中学校完全給食の実施について

中学生をめぐる食の現状／中学校昼食サポート事業の現状
住居リフォーム助成事業の再開を求めることについて

幼稚園二年制保育等、就学前教育の充実を

新屋英樹 議員

議員 現在、認定こども園法により、幼稚園・保育園の一元的な施設の整備が可能となり、多様な施設形態による就学前教育が提供できる。今年三月の一般質問で就学前教育の今後を質問し、早期に一定の方針を報告できると回答があった。しかし、幼稚園二年制保育などの具体的な構想が未だ示されていないが、今日までの検討状況はどうか。

教育総務部長 就学前教育のあり方について、幼稚園・保育園共通の就学前カリキュラムの策定や、しかた子ども園を踏まえた幼児一元化施設のあり方など、検討を重ねてきた。二年制保育についても、就学前児童数が減少する中、地域の実情に合わせた就学前教育・保育施策のあり方など、様々な角度から慎重に検討を行っている。当初の予定より計画策定が遅れているが、おおむね、今年度中には、就学前教育の充実に向けた方向性が決定できると考えている。

その他の質問項目

就学前教育について

野口保育園の運営計画

信頼される職員について

市民参加型のまちづくり／ゼロ予算事業／フロアマネージャーの管理職の参加／非常事態となっている事件に対応する職員のパトロール
市民病院の経営改革について
「公立病院改革のガイドライン」への対応／更なる「経営の効率化」

JR加古川線の電車を乗りたくなるデザインに

畑広次郎 議員

議員 JR加古川線では、平成十六年の電化以降、世界的に有名な画家である横尾忠則氏のデザインを車体にラッピングした電車が運行されており、「見る見る早い」と題し、目が描かれた電車や、「走れ！Y字路」と題された路地が描かれた電車が走っている。このような絵は芸術的にはすばらしく、額に入れて鑑賞するにはよいと思うが、電車のデザインにするにはどうか。「怖い」「暗い」「もっと明るいデザインにしてほしい」といった声が多く寄せられている。わがまち加古川を走るJR加古川線を活性化するには、子



JR加古川線のラッピング電車

どもからお年寄りまでが乗ってみたいデザインにする必要があると思うが、見解はどうか。都市計画部長 JR加古川線のラッピング電車は、兵庫県や沿線自治体で組織する協議会がラッピング事業として実施しており、八車両が運行されている。芸術性の高いデザイン車両による利用促進と話題性を提供していると考えているが、今後、市民の意見を聞いて、協議会に要望していきたい。

その他の質問項目
安全・安心まちづくり対策の取り組みについて
安全・安心まちづくりの本市の取り組みについて
の取り組み／防犯灯設置の現状と新たな設置基準／公園の安全対策／戸一灯防犯運動の現状と更なる推進／学校園における安全・防犯対策
新たな財源確保策について
新たな財源確保の考え方／ネーミングライツ導入
JR加古川線のラッピング電車について
市民の方々の声と反映／「みんなで守り育てる公共交通」の進め方
中学校部活動について
中学校スポーツ振興事業の現状と効果／文化部への導入／部活動予算

AED(自動体外式除細動器)の設置を

堀 充至 議員

議員 AEDは、突然死の主因である致死性の不整脈等を自動的に判断し、電気ショックを与えてくれる機械である。小さなかばん程度の大きさで、どこでも簡単に持ち運ぶことができ、機械が音声で指示してくれるので、だれでも簡単に操作することができる。発症から五分以内に電気ショックを施せるかどうかを命を救う項目になるといわれており、救命救急の必要性・重要性が叫ばれている。最近の



AEDを使用した救命講習会

二ユースでは、野球中にボールが胸に当たり、心臓が停止した子どもが、この機械を使って一命を救われたことが伝えられていた。本市では、小中学校など公共施設の一部に設置されているが、すべての公共施設に一斉に設置すべきと考えるが、方針はどうか。

総務部長 現在、市の施設については、全小中学校、養護学校及びスポーツ施設等に五十六台のAEDを設置しているが、今後、早期に未設置の公共施設に設置したい。

その他の質問項目
発達障害の児童・生徒の支援について

子どもたちの安全対策は

井筒高雄 議員

議員 別府町での女兒刺殺事件は、未だ犯人の検挙にはいたらず、子どもたちをはじめ、地域住民は、不安の中で生活を強いられている。冬休みを迎える学校園や、子どもたちの暮らす地域における今後の安全対策を、緊急時等短期的なもの、中長期的なものに分けて検討する必要がある。長期的には日常生活環境に戻した上での対処が重要であるが、市民・地域と、どのような連携や協力を進めていくのか。

東加古川駅周辺整備と市民要望の推進について

松崎雅彦 議員

議員 西谷踏切は危険な状況にあり、拡幅に向けて、平岡町町内会連合会は三万四千七百人を超える署名を集め、JR西日本と国土交通省に提出した。市の踏切拡幅に向けた協議の進捗状況と見通しはどうか。

建設部長 国は重要施策である「緊急踏切五箇年整備計画」の

中で本踏切を、速効対策が必要な踏切として公表した。これを踏まえ、現在は県と連携し、粘り強く鉄道事業者との協議に臨んでいる。

議員 東加古川駅北広場が供用開始となり、市民からゾーンパスを走らせてほしいという声が高まっている。早急に地域と協議の場を持つべきと考えるが、市としてはどうか。

都市計画部長 加古川市公共交通プランに基づき、平岡地区でのコミュニティ交通の具体的な路線について、周辺の道路整備状況や需要予測を勘案しながら検討したい。

その他の質問項目
子供たち、市民の安全のための対策強化について
子供たち、市民の安全のための対策の現状／安全対策の更なる強化
市民病院の地方独立行政法人化の問題点と課題について
市民病院の地方独立行政法人化の検討状況／地方独立行政法人化の問題点と課題の認識／法人化により、医療の切り捨て、サービスの低下は起こらないか
東加古川駅周辺整備と市民要望の推進について
駅北・駅南広場、周辺道路等の整備の進捗